



2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年1月12日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東
 コード番号 3892 URL <https://okayamaseishi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高野 佳典 TEL 086-262-1101
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 2023年2月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の業績（2022年6月1日～2022年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	5,426	7.1	286	△32.4	327	△28.3	225	△28.6
2022年5月期第2四半期	5,067	9.0	423	4.8	456	5.1	315	5.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	45.12	—
2022年5月期第2四半期	63.32	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	15,336	70.1	10,756	70.1		
2022年5月期	14,876	70.3	10,454	70.3		

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 10,756百万円 2022年5月期 10,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2023年5月期	—	8.00	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	5.1	600	△12.8	670	△11.3	470	△20.5	94.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期2Q	5,500,000株	2022年5月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	2023年5月期2Q	493,817株	2022年5月期	507,017株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期2Q	4,996,754株	2022年5月期2Q	4,984,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における経営成績につきましては、新型コロナウイルス感染症はウィズコロナの社会経済活動への移行が進む中、国内景気は緩やかに持ち直し、段ボール原紙を中心とした板紙の需要も概ね堅調に推移しました。

また、板紙の原料である古紙及び主な燃料であるLNGの単価が上昇し、利益を圧迫することが見込まれたため、前期に実施した製品価格改定の浸透に努めましたが、コスト上昇をカバーするには至りませんでした。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,426百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益は286百万円（前年同四半期比32.4%減）、経常利益は327百万円（前年同四半期比28.3%減）、四半期純利益は225百万円（前年同四半期比28.6%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、得意先の構成の変化等により、販売数量が前年同四半期比3.3%減少しましたが、前期に実施した製品価格改定が一定程度浸透したことにより、売上高は4,691百万円（前年同四半期比7.3%増）で増収となったものの、原燃料価格の高騰により、セグメント利益は286百万円（前年同四半期比32.2%減）と減益になりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の青果物向け製品及び通信機器関連品が比較的順調に推移したことに加え、インクジェットデジタルプリンター品の販売も拡大しており、売上高は735百万円（前年同四半期比5.6%増）で増収となったものの、原燃料及び資材価格の高騰により、セグメント損失0百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）と減益になりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は15,336百万円となり、前事業年度末に比べ459百万円増加しました。内訳は、流動資産が414百万円の増加、固定資産が44百万円の増加であります。

流動資産増加の主な要因は、税引前四半期純利益の計上による営業キャッシュ・フロー増加により現金及び預金が121百万円増加したこと及び板紙製品価格改定の効果により受取手形及び売掛金が258百万円増加したことです。また、固定資産増加の主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少104百万円に対して、保有銘柄の株価上昇により投資有価証券が156百万円増加したことです。

負債は4,580百万円となり、前事業年度末に比べ158百万円増加しました。内訳は、流動負債が170百万円の増加、固定負債が12百万円の減少であります。

流動負債増加の主な要因は、未払費用が224百万円増加したことです。また、固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債17百万円の減少であります。

純資産は10,756百万円となり、前事業年度末に比べ301百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金185百万円の増加及びその他有価証券評価差額金104百万円の増加であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の70.3%から70.1%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、2023年1月11日に公表いたしましたとおり、板紙の原材料である古紙の価格の高止まりと主要な燃料であるLNGの価格高騰から利益面で厳しい状況にありますが、2022年10月に実施した板紙製品価格の改定が今後利益に寄与することを見込んでおり、通期の業績予想は2022年7月14日の決算短信で公表したのから変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,029,474	5,150,558
受取手形及び売掛金	3,940,847	4,198,939
商品及び製品	377,216	362,310
仕掛品	27,293	19,417
原材料及び貯蔵品	329,830	378,620
その他	32,088	41,701
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	9,734,750	10,149,548
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	653,997	627,702
構築物(純額)	123,838	119,211
機械及び装置(純額)	1,291,180	1,196,544
車両運搬具(純額)	1,336	1,094
工具、器具及び備品(純額)	30,043	26,939
土地	261,433	261,433
リース資産(純額)	32,955	37,798
建設仮勘定	—	20,000
有形固定資産合計	2,394,785	2,290,724
無形固定資産		
投資その他の資産	6,422	5,142
投資有価証券	2,700,626	2,856,786
出資金	9,793	9,793
その他	30,386	24,423
投資その他の資産合計	2,740,805	2,891,002
固定資産合計	5,142,013	5,186,869
資産合計	14,876,764	15,336,418
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,352,163	2,344,037
未払金	349,769	374,141
未払費用	520,775	745,730
未払法人税等	214,910	174,771
その他	114,751	84,566
流動負債合計	3,552,370	3,723,246
固定負債		
繰延税金負債	372,056	354,560
退職給付引当金	444,209	451,655
その他	53,338	50,759
固定負債合計	869,604	856,974
負債合計	4,421,974	4,580,221

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	764,370	770,400
利益剰余金	7,415,068	7,600,562
自己株式	△191,265	△186,285
株主資本合計	8,809,244	9,005,747
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,645,544	1,750,449
評価・換算差額等合計	1,645,544	1,750,449
純資産合計	10,454,789	10,756,197
負債純資産合計	14,876,764	15,336,418

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
売上高	5,067,963	5,426,754
売上原価	3,845,502	4,316,051
売上総利益	1,222,461	1,110,703
販売費及び一般管理費	798,613	824,293
営業利益	423,847	286,409
営業外収益		
受取配当金	29,918	37,552
その他	3,023	3,439
営業外収益合計	32,942	40,991
営業外費用		
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	456,789	327,401
税引前四半期純利益	456,789	327,401
法人税、住民税及び事業税	169,290	165,411
法人税等調整額	△28,100	△63,446
法人税等合計	141,189	101,964
四半期純利益	315,599	225,437

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。